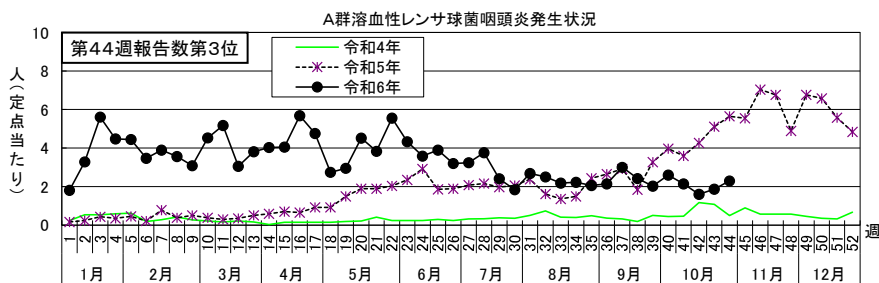
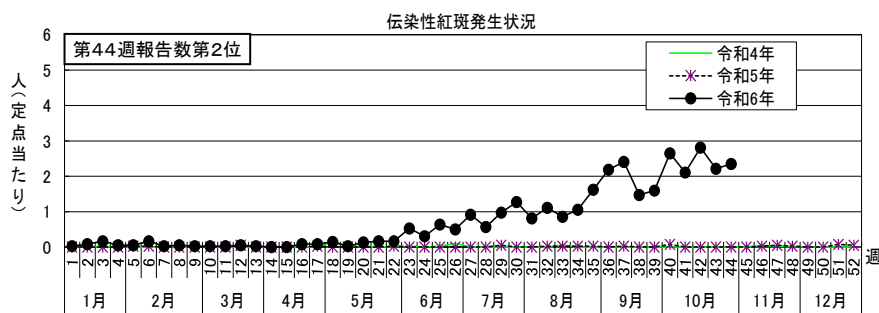
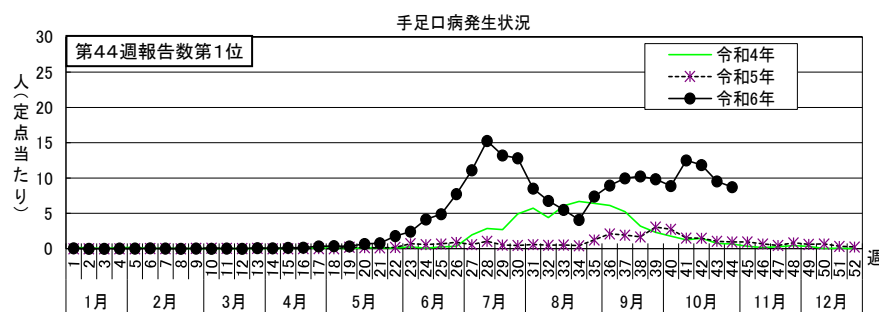


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年10月28日（月）～令和6年11月3日（日）〔令和6年第44週〕の感染症発生状況

第44週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）手足口病 2）伝染性紅斑 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
手足口病の定点当たり患者報告数は8.70人と前週（9.51人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は2.35人と前週（2.22人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.30人と前週（1.86人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか？～ボツリヌス症～

令和6年第44週（10月28日～11月3日）に川崎市内でボツリヌス症の報告が1件ありました。全国的にボツリヌス症の報告は稀で、年間数件しかみられません。市内でも令和3年以来3年ぶりの発生となりました。

ボツリヌス症は、ボツリヌス菌等が産生する毒素により麻痺を引き起こす疾患で、成人では主に毒素に汚染された食品の喫食により感染します（食餌性ボツリヌス症）。過去には真空パック詰食品を原因とする事例もあり、パックが膨らんでいたり、開封時に変なにおいがする場合は食べないことが重要です。

また、1歳未満の乳児ではハチミツの摂取を原因とする乳児ボツリヌス症がよく知られているので、乳児にハチミツ及びハチミツを含む食品を食べさせないようにしましょう。

食餌性ボツリヌス症とは？

食餌性ボツリヌス症は、ボツリヌス菌が食品内で産生した毒素を摂取することで発症します。ボツリヌス菌は酸素の少ない状態で毒素を産生するため、真空パック詰食品や缶詰等が原因となります。真空パックや缶詰が膨らんでいたり異臭がある場合は、食べないようにしましょう。

乳児ボツリヌス症とは？

乳児は腸内細菌の性状が成人と異なるため、乳児の腸内ではボツリヌス菌が増殖し、毒素を産生することがあります。そのため、ハチミツに混入したボツリヌス菌を乳児が摂取すると発症することがあるので、乳児はハチミツ及びハチミツを含む食品の摂取を避ける必要があります。

全国におけるボツリヌス症発生状況 —平成27年第1週～令和6年第43週—

